

2022年度 自己点検・評価チェックシート 学部・研究科名：人間科学部

※学部・研究科ごとに作成してください。

確認事項1 3つのポリシー		
(1) 3つのポリシーを教授会・運営委員会等で確認した	☐ 確認した	年 月 会議名：
	☒ 確認していない	2022 年 12 月 確認予定
(2) 3つのポリシーは学生や社会に公表されている	☒ 公表されている	☒ 要項 ☒ HP ☐ パンフレット ☐ その他（ ）
	☐ 公表されていない	公表予定時期：

確認事項2 学修成果		
(1) 学修成果を設定している	☒ 設定している	⇒(2)、(3)を記入
	☐ 設定していない	年 月 設定予定
(2) 学修成果の内容	☒ 各学部・研究科の DP と関連付けて設定している ☒ 複数の方法で根拠に基づいて測定することが可能である ☒ 知識、スキル、態度・志向性をバランスよく含んでいる ☒ 「学生は、～することができる」といった形式にするなどわかりやすい記述となっている	
(3) 学修成果を明示している	☒ 明示している	☒ 要項 ☒ HP ☐ パンフレット ☐ その他（ ）
	☐ 明示していない	年 月 明示予定
◆明示している学修成果（昨年度報告している箇所もご記入ください。ホームページ等のリンクではなく、学修成果をご記入ください。） ①日本語の運用力、外国語の実践力の総合としての「言語力」を身につけている。 ②情報・データ等の収集・分析・表現能力の総合として「データ・リテラシー」を身につけている。 ③科学的・論理的な思考力と専門的知識や方法論を身につけている。 ④主観的経験や倫理的問題に対して、解釈学的方法を用いて考察できる。 ⑤具体的な「専門性」のもと、帰納的で検証可能な分析を行うことができる。 ⑥社会への開かれた関心と態度を身につけ、その多様性を理解し共感することができる。 ⑦人間的事象を複眼的な視点から捉え、そこに解決すべき課題を発見することができる。 ⑧多様な専門性を横断する「インターディシプリナリー」な視点から、現実を捉えることができる。		

- ⑨課題探究(フィールドや実験)プロジェクトをマネジメントすることができる。
- ⑩課題解決のためのアクション・プランをデザインすることができる。
- ⑪研究成果や自らの考えを具体物として表現することができる。
- ⑫自分とは異なる意見、価値観、感性、文化、言語を持つ他者と協働することができる。
- ⑬様々な専門性をつないで「インタープロフェッション」を推進する知識や技能を身につけている。
- ⑭社会的公正を尊重した倫理観を持ち、社会に貢献しようとする態度を身につけている。
- ⑮科学の可能性と限界を理解し、現実への批判や反省を行うことができる
- ⑯自律性・積極性・協調性を備え、自己教育を行うことができる。
- ⑰自らのキャリア・プランをデザインすることができる。

確認事項 3 学修成果の測定方法の設定

(1) アセスメント・ポリシーを設定している	☐ 設定している	⇒確認事項(2)、(3)を記入
	☒ 設定していない	2022 年 12 月 設定予定
(2) アセスメント・ポリシーの内容	☐ 学修成果と測定方法の関連性が明確になっている ☐ 学修成果を複数の方法（可能な限り「直接評価」と「間接評価」の組み合わせ）で測定する ☐ 測定時期を明確にしている ☐ どの水準をもって達成とするか学部・研究科内で合意している	
(3) アセスメント・ポリシーを明示している	☐ 明示している	☐ 要項 ☐ HP ☐ パンフレット ☐ その他（ ）
	☒ 設定していない	2023 年 3 月 明示予定
◆明示しているアセスメント・ポリシー（別紙での提出も可）		

<3つのポリシー・カリキュラム・入試制度の変更>

※2021 年 10 月以降に変更を決定した項目があれば記載してください。本チェックシートの別項目で記載している場合は不要です。

項目	変更時期	変更内容	変更理由
カリキュラム・シークエンス図の公開方針の決定	2022 年 3 月	人間科学部では 2013 年度の時点で、カリキュラム・シークエンス図という名称で、カリキュラムマップを作成し、カリキュラムの議論の際に活用してきた。しかし、学生を含め学生に対して非公開としてきた。これを見直し、今後のカリキュラムポリシーの可視化やアセスメントポリシーの制定の前提として、カリキュラムシークエンス図（カリキュラムマップ）を公開する方針とした。	カリキュラムマップの公開、関連するアセスメントポリシー設定のため。
オンライン授業の実施方針の制定	2022 年 3 月	カリキュラムポリシーの一貫として、オンライン（オンデマンド、リアルタイム、ハイフレックス等）での授業実施の条件や方針を定めた。	関連するアセスメントポリシー設定のため。
科目ゾーニング制度の修正	2022 年 3 月	2023 年度の 100 分授業に対応する科目ゾーニング（科目区分毎の時間割設定の目安）を定めた。	関連するアセスメントポリシー設定のため。

※確認事項 3-1、3-2、3-3、3-4、3-5、3-6、3-7、3-8、3-9、3-10 は該当なし